

特集：もっと手に取りやすい議会だよりを目指して！
議員コラム：前原 英石

ふなはし議会だより

Funahashi

ふなはし

Bridging

ぶりっじんぐ

Voices

うおいしーず

INDEX

- 特集：もっと手に取りやすい
議会だよりを目指して！ …P 2
- NEWS……………P 6
- 6月議会号アンケート報告 ……P 8
- 一般質問……………P 9
- 議員コラム：前原 英石 ……P16
- 9月定例会議案一覧 ……P17
- 常任委員会……………P18
- クロスワード、あとがき ……P20

休耕田に植えたひまわりが咲き誇った夏。畑のすぐ横に線路があり、ひまわりと電車とのコラボレーションも楽しめました。「サンフラワープロジェクト」において10月13日(日)に実施された種収穫イベントには、幅広い世代の住民が参加されました。今後、収穫した種を用いてひまわり油の開発を行っていきます。



ひまわり畑とかぼちゃ電車

特集

もっと手に取りやすい 議会だよりを目指して!

本特集では、私たち議会広報特別委員会の活動を紹介します。私たちの主な活動は、年4回の議会後に発行される議会だより（Funahashi Bridging Voices）の編集です。

舟橋村が今よりもっと輝く（SHINY：シャイニー）為に、私たちがどういった作業を行っているのか紹介をさせていただきます。

議会広報特別委員

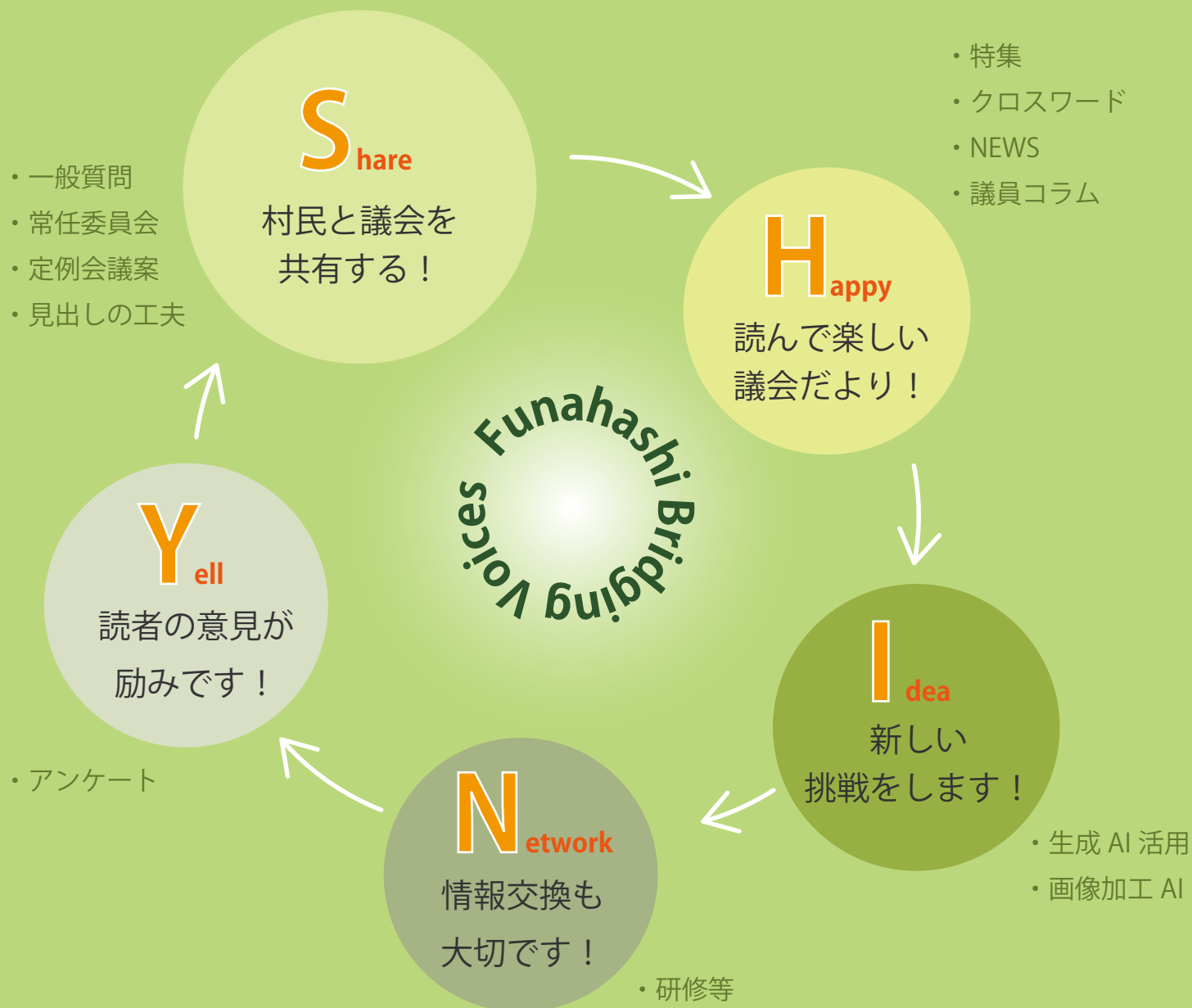
2022.12~2024.11



委員長
古川 元規

副委員長
前原 英石

村がもっと輝く (SHINY) 為の議会だより作り



委員

田村 馨

委員

小杉 知弘

事務局

喜田 義樹

Share 村民と議会を**共有**する！

「見出し」に注目！

議会だよりを読む時間は人それぞれ違う
ていると思います。じっくり読む人、さっ
と読む人、気になったところだけ読む人、
色々な人がいます。実はどんな人にも読み
易いよう、見出しにこだわっていて、見出
しを見れば一般質問における答弁の結論が
わかるように工夫しています。

古い議会だより ↘

補助金について



最近の議会だより ↘

補助金が出ます



議員だよりコンテンツ撮影風景

Happy 読んで**楽しい**議会だより！

クロスワードに挑戦しよう！

議会だよりの背表紙にはクロスワードパズルが付いてい
ます。実はこのパズル、完全にオリジナルの物になっていて、
私たちが毎回作っています。内容は定例会で議論された言
葉などを使うようにしていますので、楽しみながら議会に
触れていただければ幸いです。他にも議員コラムなど、議
員一人一人のプライベートな側面を紹介したりしています。

Idea 新しい**挑戦**をします！

AI という 6 人目のメンバー！

生成 AI という技術が一般化されて、まだそれほど時間が
経っていませんが、我々広報特別委員会でも積極的に活用
しています。実は表紙の絵は、私達が用意した写真を AI が
手描き風に一瞬で加工してくれています。他にも読者投票
で決定した議会だよりのタイトルですが、タイトル候補の
いくつかは生成 AI が案を出してくれました。



Network 情報交換も大切です！

他の行政からも学びます！

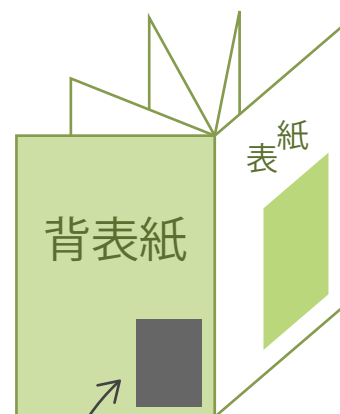


毎年東京で議会だよりを扱った研修会が行われています。研修会では他の行政が作っている議会だよりをたくさん見ることが出来ますし、私たち舟橋村議会の議会だよりに対する意見も、参加者や講師の方からいただくことが出来ます。実は去年のクリニックで、私たちの議会だよりは高評価でしたが、そこで学んだ経験を元に今も絶賛改善中です。今後も楽しみにして下さい。

Yell 読者の**意見**が励みです！

アンケートにご協力を！

議会だよりでは、毎回読者の皆様の意見をアンケートで伺っています。スマートフォンさえあれば、誰でも回答できる簡単なアンケートです。是非一度回答してみてください。実は本特集も読者アンケートで、「議員の普段の活動を紹介してほしい！」という意見があり、実施しています。時には厳しい意見もありますが、毎回アンケート結果を楽しみにしています。是非一度回答してみてください。



アンケートの回答は
こちらのQRコードを
スマートフォンで
読み込んでください。



01 立山カルデラで議員研修

02 もっと川をキレイに！

03 一生懸命花を咲かせました！

04 こんな遊具がほしいです！

NEWS

01 立山カルデラで議員研修

2024.08.20 中新川郡町村議会議員研修会

中新川郡の立山町、上市町、舟橋村の町村議会議員の毎年恒例の研修会が開催されました。本年は立山カルデラで、過去の大災害の爪痕や立山温泉跡地、砂防堰堤などを見学しました。山そのものが崩れ落ちるような大災害があったこと、そしてその過ちを繰り返さないために戦時中であっても不断の努力で工事や施設の維持に努められ、それが今も続いている様子を実際に見ることで、防災の大切さを感じることでできる研修会となりました。（古川 記）



NEWS

02 もっと川をキレイに！

2024.09.28 ふるさとの川美化活動

今年も有志による村内の川清掃が行なわれました。今年の参加者は26人。例年通りみんなで胴長靴に履き替えて、川のごみを集めました。お金が入ったままの財布や、風で飛ばされて来た看板、タイヤ、空き缶、今年もたくさんのごみが集まりました。私は2回目の参加でしたが心なしか去年よりゴミが少なかった気がします。いつか拾うゴミがなくなる日が来ると良いですね。（小杉 記）



NEWS

03 一生懸命花を咲かせました！

2024.10.13 サンフラワープロジェクト種収穫

一面ヒマワリの花で埋め尽くされることを願って皆で種まき。

猛暑に耐えてすくすく育ち、電車に乗る人の目を楽しませ、そこを訪れた多くの人にも様々な感動を与えて来たヒマワリですが一つの役割を終えました。

さあ今度は皆で花を摘み、その種を搾りその油はどんな形で私達に喜びと感動を与えてくれるのでしょうか？

（前原 記）

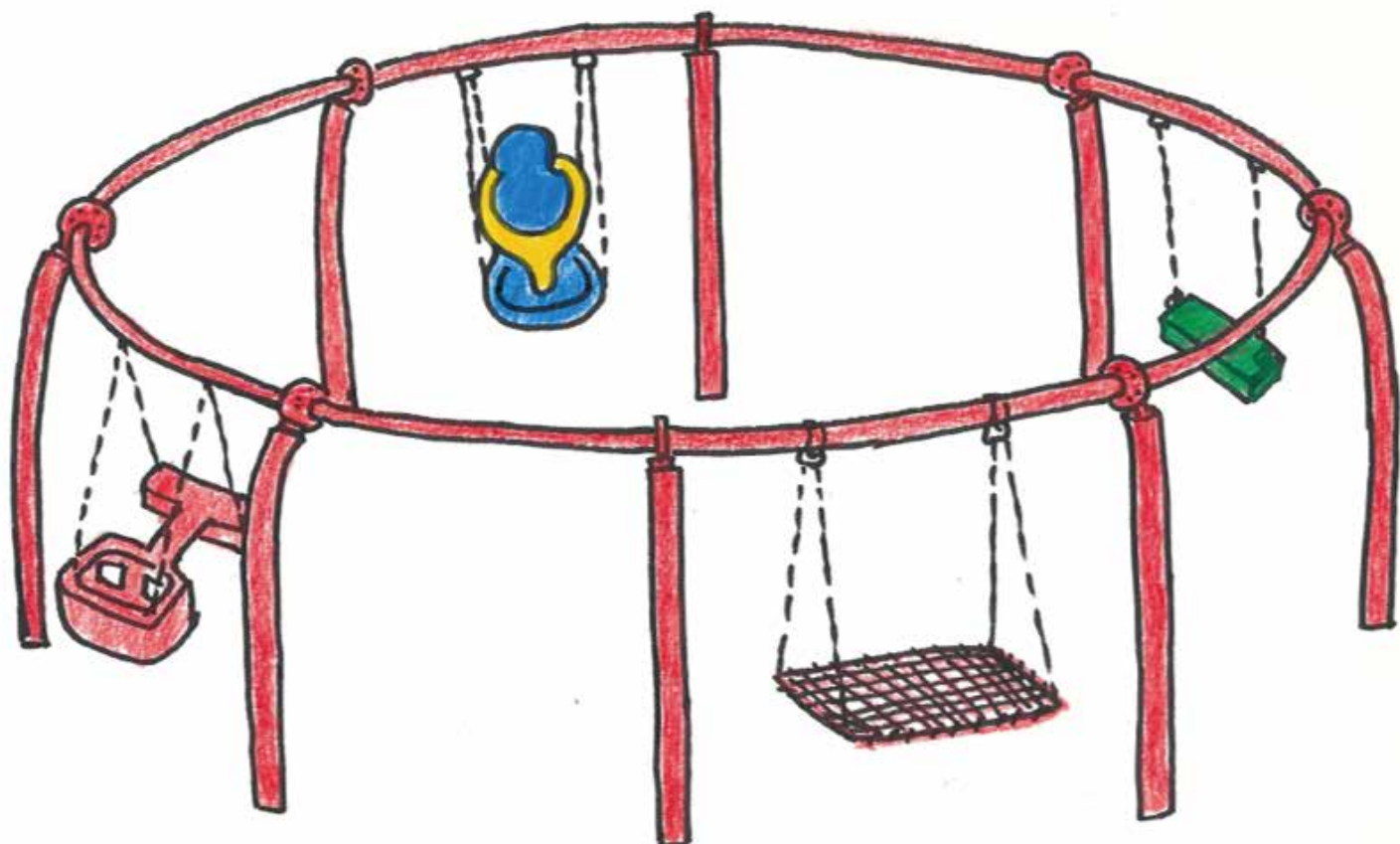




京坪川河川公園（オレンジパーク）では「こども公園部長」を中心に～みんなの場所をみんなで育てる～と公園の活用を考え活動が続けられています。平成 29 年クラウドファンディングに挑戦し「一人じゃ遊べない水遊び遊具」「ひみつきち」を設置することができましたが、それ以降も意見を出し合い、どんな遊具があったらいいのかこどもたちの考えを集めてきたそうです。実現に向けて、村長や議員へ相談をしたいと声が上ががり、3月議会終了後、「誰でも遊べる遊具」の設置に向けて提案する場をくださいと、こども公園部長達をお願いに来てくれました。今回はその時にお願いされた提案の場でした。プレゼンテーションでは、「誰でも遊べる遊具」の設置に向けた話し合いの課程の説明と、「みんなとだから、楽しめるブランコ」という円形のブランコを提案してくれました。誰でも座れるように、ベンチの形もそれぞれ違って、いろいろな人と楽しい時間が共有できる素敵なブランコだと思いました。既成概念に囚われないこども達の自由な発想に感動しつつ、資金や安全面など課題もありますが是非とも実現したいと思いました。（小杉 記）



■こども公園部長メンバーで書いた “みんなとだから、楽しめるブランコ”

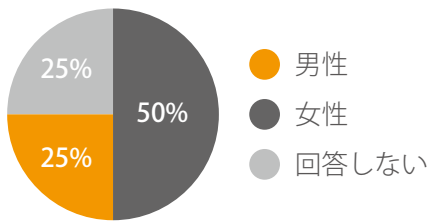


6月議会号アンケート報告

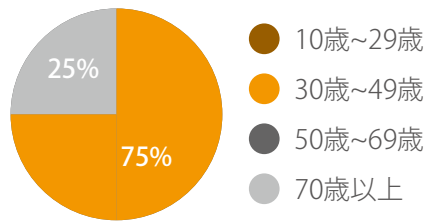
実施期間：2024.08.01～2024.09.30

回答数：4

問1、性別を教えてください



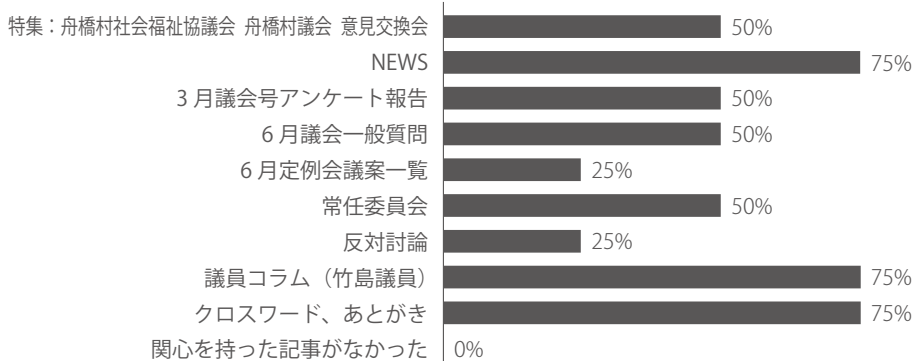
問2、年齢を教えてください



問3、今回の議会だよりをどの程度読みましたか？

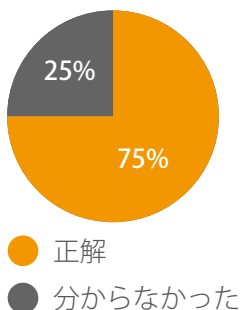


問4、今回の議会だよりで関心を持った記事はどれですか？（複数回答可）



問5、クロスワードの答え

議会だよりのご意見を
アンケートで
教えてください！



1ク	14サ		16ケ		9タ	19カ		12ケ	24サ
2セ	ン	15テ	ン	17セ	イ	フ	21ウ	シ	ン
	6フ	ツ	コ	ウ	シ	エ	ン		ダ
3ア	ラ		7ウ	ラ	ン		11キ	23ユ	ー
4サ	ワ		カ			20タ		13カ	バ
5ク	ー	リ	ン	18グ	シ	エ	22ル	タ	ー
サ			8リ	ン		10マ	イ	ン	ド

問6、議会だよりについて、ご意見・ご要望をお聞かせください。

- ・私自身も社会福祉協議会が何をしておられる団体なのか理解していなかったので、とても勉強になった。自分にも何かできないか考える機会を得られた。サンフラワープロジェクトに関心がある。とても素敵なプロジェクトだと思う。プロジェクトの内容も詳しく知ることができて面白い。これからも舟橋村が活気あふれる村になるように頑張ってほしい。
- ・社会福祉協議会については、会報の内容でしか知識がなかったが、活動の一端を理解できた。今後も、村内団体との意見交換を実施して下さい。

自分にも何かできないか考える機会を得られた。

6月議会号はこちら



舟橋村のさまざまな施策や課題等について、
議員が自身の主張も含めて村の考えを聞く**一般質問**。
9月定例会で出された各議員の一般質問を紹介します。

田村 馨 議員…………… P 10

1. 「地域おこし協力隊」での地域の活性化と定住者の支援拡充について
2. アプリを活用した行政サービスの申請について

加藤 智恵子 議員…………… P 11

1. 早朝の学校開放について
2. 高齢者移動手段としての施策進捗状況について

森 弘秋 議員…………… P 12

1. 主要地方道富山上市線の融雪装置の整備について

小杉 知弘 議員…………… P 13

1. 小学校のプール授業及び夏休みのプール開放について

古川 元規 議員…………… P 14

1. ふるさと納税の取組強化について
2. 消防団への助力は足りているか

竹島 貴行 議員…………… P 15

1. 高齢者福祉について



地域おこし協力隊員の活動を支援

Q 地域おこし協力隊員へのフォロー、任期満了後の定住や定住後の活動支援は如何に？

都市部の若者で、農林水産業の振興や住民の生活支援などに携わる地域おこし協力隊の隊員が増えている。

隊員は一定期間、地域に居住して、地域ブランドや地場製品の開発・販売・PR等の地域おこしの支援や、農林水産業への従事、住民の生活の支援などの地域協力活動を行いながら、その地域への定住・定着を図る。

協力隊のメンバーは、その地域の初心者という場合がほとんど。できる限り早く地域に慣れスムーズに活動を進められるよう、自治体は、協力隊員としっかり関わり、連携・

支援を行うなど細かくフォローしていく必要性がある。

そこで以下3点について伺う。

1. これまで本村に赴任した地域おこし協力隊員は何名で、うち村内定住者は何名か。
2. 協力隊員に関する助言等を行う地域おこし協力隊アドバイザー派遣事業の活用を考えているか。
3. 地域おこし協力隊員の定住を後押しするためには、地域プロジェクトマネージャーとの連携並びに支援等が重要になってくると考えられるが、見解を伺う。

A 隊員と地域住民との関りを後押しし、活動を支援

舟橋村では本年7月1日に着任いただいた隊員が初めての「地域おこし協力隊員」である。サンフラワープロジェクト（仮称）を中心に、DXや新たなふるさと納税返礼品の開発にあたり活用したところであるが、今後新たに「地域おこし協力隊」を活用した取組を検討する際には、他自治体における地域おこし協力隊アドバイザー

派遣事業の活用事例も参考にしたい。「地域プロジェクトマネージャー」は、外部専門家等との橋渡し役となる者。舟橋村では、隊員と職員とが定期的にミーティングを開催しているほか、隊員が様々な地域イベントに参加する機会を創出し、隊員と地域住民の人的ネットワークの構築を支援することで活動を後押ししていきたい。

結ネットを活用し利便性を向上！

Q 24時間利用可能な行政アプリの導入でサービスの拡充を！

スマートフォンなどから住民票や印鑑登録証明書などの申請を行うことが可能なサービスを導入する自治体が増えている。一例として、窓口混雑の緩和や利用者の利便性向上、職員業務の効率化を目的に、LINEを用いた住民票等の各種証明書類のオンライン申請サービスがある。

このアプリで行えるサービスは、住民票や課税証明書、所得証明書、納税証明書などが対象で、申請を受けて発行した住民票等は郵送で自宅に届くという仕組み。

本人確認は、身分証明書の写真と自分の顔を撮影した写真をAIで確認するというものであり、職員にとっても本人確認の手間がかからない点が優れていると感じられる。

さらに各種書類の申請の受け付けだけでなく、妊婦面談等の予約や役場が開催する各種講座の予約の申請の受け付け、道路や橋、公園の遊具などの破損・不具合などの通報や落書きなどの情報提供の受け付けまでも行われ、今後は、飼い犬の登録や鑑札の再交付、注射済票の交付・再交付の申請などにも対応すること。

このサービスはアプリからの申請なので、24時間申請が可能であることから、利用者の利便性向上に加え、住民の方が役場に来庁されることによる密を避ける手段としても有効。こうした行政サービスアプリの導入の可能性について、見解を伺う。

A 「結ネット」活用を進め、行政サービスのデジタル化と利便性の向上を図る

富山県内でもLINEの機能を拡張して、各種証明書類の申請や窓口相談予約、防災・緊急情報のお知らせサービス等が提供されているが、住民が利用できるサービスの種類は各自治体で様々である。舟橋村では、今年度から新たに導入した、電子回覧板機能や災害時の安否確認、

広報紙の配信機能等を備えたスマートフォン向けアプリ「結ネット」の普及を推進し行政サービスのデジタル化を進めるとともに、他自治体におけるアプリを活用した行政サービスの導入事例について情報収集し、行政サービス向上に努めたい。

02 一般質問 加藤 智恵子 議員



◀動画は
こちら



始業開始時刻を早めて対応している

Q 小学校の早朝開放を求む

舟橋村では、子育てと仕事の両立が難しい共働き世帯が多いと推察されます。小学校入学後の早朝の預かり場所がありません。今までは主に「放課後どうするか」が話し合われ、対策が講じられてきましたが、最近では「朝どうするか」に変わってきています。保育所では午前7時から夕方7時まで子どもを預けることができます。小学校では放課後のみ学童保育がありますが朝の時間帯の

学童のサポートがありません。このため、早朝の学校開放を求める声があります。保護者のニーズを把握するためアンケート調査を実施したり、小学校教員の負担を増やさない形で、地域住民や協働団体と話し合いの場を設けるなど協力しながら小学校の早朝開放の実現に向けた取組を進めるべきと考えるが、当局の考えを伺う。

A 始業開始時刻を早めており、学校の早朝開放は考えていない

舟橋小学校では、始業開始時刻を早めており、午前8時5分から始まる「朝の会」にあわせ、児童は7時40分から50分の間に登校している。その分、自宅を出る時間帯も早いと思われる。現段階においては、学校はじめ教育委員会や生活環境課に、学校の早朝開放を求める要望は来ておらず、実施については考えていない。



自動運転バス導入 令和7年度中に判断

Q 高齢者移動手段としての施策進捗状況について問う

2025年に団塊の世代全員が75歳以上の後期高齢者となることを見据えた、自動運転バス、マイカーを活用した共助型公共交通などの移動手段の施策の進捗状況を伺います。また自動運転バスを日常の移動手段としてだけ

ではなく高齢者向けのツアーやサークル活動など、高齢者の楽しみとして活用することを提案します、当局の考えを伺う。

A 実現可能な公共交通施策を検討

自動運転バス導入の是非については令和7年度中に判断できるよう協議を進めている。導入しないとなった場合も、何らかの公共交通施策が必要であると考えている。公共ライドシェアやA I オンデマンド交通等、他自治体で展開されている様々な交通施策を参考に検討したい。

現状においては、社会福祉協議会の「外出支援サービス」が唯一の事業であるが、担い手確保が難しく、サービス内容拡充が困難な状況である。高齢者の運転免許返納事業と並行して、実現可能で有益な事業について引き続き検討したい。



◀動画は
こちら



富山上市線融雪装置整備について 関係地区に意見聴取

Q 主要地方道富山上市線の融雪装置整備の進捗状況と今後の方向性は？

主要地方道富山上市線の融雪装置の整備であるが、この整備については、平成2年頃、定かではありませんが、県は融雪装置の整備について、村に打診したが、地元の反対を受け中止となり、以後、要望すら出ていなかった。しかし、本道路は富山県の主要道路であり、かつ近年のモータリゼーションの発達により車両の走行が一段と増加し、不慮の事故等も考慮すると、融雪装置の整備は喫緊の課題であるとする。今更との意見もあると聞き及んでいるが、裏を返せば整備しなくともよいともとれるが、なぜそんな疑問が起るのか不思議でならない。千載一遇のチャンスと捉えるのが本来と思うがどうだろうか？県は、新規の融雪装置は整備しない。また、老朽

化した融雪装置を優先的に補修すると言っているが、これには疑問を感じる。それでは、既得権者だけが利益を被っている。新しく発展した町村、人口増となり交通量の大幅な増となった地区はどうなるのか？冬季の事故の増を待っているのか？交通安全を打ち出しているが、この面からも疑問を感じる。本道路は県の主要道路であり、かつ、西は、富山市三郷地区、東は、立山町の泉地区まで、住宅街地は、整備済みである。県は、中抜け区間を優先的に整備する。舟橋村の大きな中抜け区間を整備しないでどうするの？

村長は、県と掛け合い早急に整備すべきと考えるが村長の今後の姿勢を問う。



A 沿線3地区のお考えをお聞きして対応

過去に、主要地方道富山上市線が所在する、舟橋・竹内・国重の各自治会長を交えた説明の場はあったものの、その後各地区での協議や話し合いは進んでいないものと認識している。地区ごとに様々な事情があると思われるが、村を横断する県道であるので、竹内と国重の各地区

には舟橋地区から要望が上がっている旨をお伝えし、これまで村から各地区のお考えを頂くという働きかけが実施できていなかったため、今後お願いしてまいりたいと考えている。

04 一般質問 小杉 知弘 議員



◀動画は
こちら



来年は午前中のプール開放も検討

Q 子供たちがプールに入る機会が少くないか？

今年の春ごろに、去年の実績、猛暑下での監視、及び登下校時における熱中症の発生を懸念して、夏休みのプール開放を中止するお知らせが発表されました。

結びに「プールの利用につきましては、課業中の学校の水泳指導等を充実させるよう努めてまいります。」と書かれています。

1 点目の質問は、今年の学校での水泳指導等の実績を教えてください。

日本は、まわりを海で囲まれた島国ですし、本村内には数本の河川も存在します。水泳指導は万が一の時、水難事故から身を守るために必要な授業だと思います。

一方、プールを使った授業、及び夏休み中のプール開

放では、猛暑下における登下校、プール監視員の熱中症のリスクが考えられます。

県内では、監視員の増員、こまめな休憩と給水を徹底して行い授業を行っていたり、プールの開放時間を午後から午前に変更したりして、対応をした学校もあったと聞いています。

プールの授業及びプール開放について、来年は子供たちが安全に水に触れ合うことが出来る機会が増えるよう、環境の整備を進めていただきたいと思います。

以上2点の質問になりますが、来年の実施に向けてご意見を伺えればと存じます。

A プール授業は予定回数の実施はできなかった。次年度のプール開放は学校長判断

小学校でのプール授業は、本年度全学年4回以上の実施を予定していたが、実施できたのは4・5年生が2回、他学年は1回のみ。6月後半から7月にかけて天候不良が続いたことと熱中症警戒アラートが発令されたことにより、予定通り実施することができなかった。夏休みのプール開放は、本年度は実施していない。高温の日が続いた昨年度の実施が1回にとどまったことと、本年度も猛暑が予想されていたことから、5月のPTA役員会で

の協議を経て、小学校において決定した。次年度のプール学習については、これまでどおり指導計画に則って実施していくこととしている。夏休み期間中のプール開放については、学校とPTAとの協議を踏まえ、学校長判断となるが、時間帯を午前中に変更して実施することについては教育委員会において考えている。PTAによる監視の協力が必要となるが、次年度に向けた体制を検討したい。





◀動画はこちら



ふるさと納税 先進的取組へ強化検討!

Q ふるさと納税の取組強化を急げ

制度を活用して年間予算をはるかに超える寄付金を獲得し、潤沢な予算をもとに住民に資する支出を実現している自治体もあり、ただ指を加えて見ても非常にもったいない状態である。

先日開催された「ふるさと納税返礼品 商品化セミナー」において、地域力創造アドバイザーの渡邊竜一さ

んも、講師として見えられていたスズランロードハウスの生井浩司さんも、口を揃えて富山県、そして舟橋村の潜在能力の高さを力説されていた。

他の自治体に先駆け、補正予算を組んでもすぐに動き出すべきであるとするが、村長の考えを問う。

A 加工を行うことで返礼品として扱える点を重視

先日開催したセミナーにおいて、講師の方から舟橋村のポテンシャルの高さとして、大都市に近接している立地上の優位性、子育て世代が多い点、富山県全体において食材が豊富である現状について高く評価いただいた。同時に、来年度に行われる制度改正への柔軟な対応が今

後の大きなポイントになると考えている。特に、資源に乏しい自治体にとっては、加工を行うことでその地の返礼品として扱うことができる点は大きな魅力と感じており、制度の詳細を把握したうえで、先進的な取組を展開できるよう検討してまいりたい。

先進事例参考に 消防団の活動を支援!

Q 消防団への助力は足りているか?

消防団では、意識啓発のイベント開催などを通して女性を含めて入団者の増加や、シャワー室の設置をしたいという話を聞いている。

消防団の充実強化のためには多く支援制度があり、それらを活用することで、入団者を増やしている事例もある。また、シャワー室などの施設の整備については、緊

急防災・減災事業債の活用ができる。

舟橋村においても消防団の充実強化を図ることができるのではないか? 消防団は舟橋村の防災減災の要でありますので、できる限り村としても助力をしていくべきだと考えるが、当局の考えを問う。

A 団員の意見を伺い、活動を支援

これまで、国や県の補助金を活用して消防団の資機材を整備してきたほか、消防会館のシャッターにイラストを描いて、団のPRやイメージアップを図るなどし、活動を支援してきた。消防団への助力に関する取組を強化

するにあたり、今後は消防団員の皆さんからご意見を伺うとともに、他自治体における入団促進の取組や団活動活性化に向けた先進的な事例を参考に進めてまいりたい。



◀動画は
こちら



社会情勢の変化に応じ引き続き 高齢者福祉に力を入れる

Q 高齢者の現況を把握し、福祉の深化に取り組むべき。
少子高齢化、人口減少下で、村は高齢者福祉に更なる目を向けて欲しい。

国は高齢社会白書で65歳以上の人口に占める一人暮らしの割合が2015年時点で男性が13.3%、女性が21.1%、2040年には割合が男性20.8%、女性が24.5%と推計し、少子高齢化と人口減少が加速度的に増加すると公表しています。また、今年上半期に自宅で亡くなった一人暮らしの人で65歳以上の割合が最も高かった県が富山だったそうです。このことを踏まえ、村には高齢者福祉に向き合って欲しいと考えます。

舟橋村の高齢者保健福祉計画を職員自ら頑張り、骨子

を作ってくれました。この計画が活かされ、村民に寄り添った福祉サービスが展開されることを期待します。また、社会福祉協議会や各種福祉団体の皆さんが村の福祉に貢献されている姿を皆さんに関心を寄せていただきたいと思います。

福祉は形式に捕らわれず、人が人を支える行為です。村は福祉行政を推進するため、人材の確保や育成が重要であり、行政の生命線です。村長には、村民が住んで良かったと思える村づくりの先頭に立ち頑張ってもらいたいと期待します。

A 住民自らが地域課題を解決できる仕組づくりとその支援に努める

65歳以上のひとり暮らし高齢者世帯は9月1日現在で63世帯。民生委員や協力員による訪問、ケアネットメンバーによる見守り活動、ケアマネージャーや地域包括支援センターによる訪問等、様々な方法で見守り活動を実施している。万が一に備え、緊急通報装置を設置している世帯もあり、対象者の希望に沿う形で実施している。災害時や災害発生の恐れがある際には、避難行動要支援者登録台帳をもとに各自治会長や見守り担当の方が、該当者の安否確認や避難行動の支援にあたっている。

高齢者の引きこもりや孤立化、健康問題等に対しては、地域から課題として挙げられた際に対応策を検討し事業

化して対応している。高齢者のゴミ捨てが難しいという案件については、地域へゴミ出しボランティアを呼びかけた結果、地域において高齢者等のゴミ出しの協力体制が整ったという事例もある。住民の方々同士で課題を解決できる仕組づくりと同時にそれを支援していくのが村の重要な役割であると認識している。また、65歳以上のひとり暮らし高齢者54名に温湿度計の配布を実施した。民生委員に訪問いただき、使用方法の説明とあわせて、クーリングシェルターとして公共施設を開放していることもお伝えするなど、熱中症への注意喚起を実施した。



前原英石

Personal Column

Vol.07

議員一人ひとりの素顔に迫る。

Theme

コロナがくれたもの

～これまで、想像すらしなかった生活～



当たり前のように家で過ごす時間が激増!!

家での食事が増え、時間にも余裕が出来た時、ご飯すらまともに炊けないだけではなく、料理するなど考えもしなかった私をキッチンに立とうと思わせてくれたのがコロナ禍でした。逆に今では料理が楽しくお客さんのもてなしなどが楽しみになっています。

次に、皆で食事をしている時、食卓が殺風景だと思うようになり始め、食卓に花でも飾ってみようと考え花を置き始めました。花瓶の水替えをしたり、もしその花が枯れればまた花を買い求める生活となりました。

今ではいろいろな記念日に子供達が花や小さな鉢植えを贈ってくれます。それが嬉しいです。

そんな時に始まった「サンフラワープロジェクト」。それがまた私の心に火をつけました。

もらった種を庭に植えて、毎朝夕観察です。童心に帰りました。発芽し日々成長するヒマワリを見るのが日課。成長の過程の写真を撮り自己満足している自分におかしくもありでした。

最近、子供たちと種を取りました。この後、絞った油で料理を作る事が今から楽しみです。

コロナに感染もし辛い思いもしましたし、後遺症もまだありますが、少しだけ私の生活に前向きな変化を与えてくれました。



自宅の庭に咲いたひまわり

まえはら えいせき

昭和32年3月20日生まれ

舟橋中学校・富山県立富山北部高校卒

46歳で舟橋村議会初当選

20歳の頃から舟橋村の体育協会（現在はスポーツ協会）や商工会の活動をする中で村との関りが多くなり舟橋村の良さを知る。

9月定例会議案一覧

会期：9月2日～9月13日

9月定例会に提出された案件について、付託された委員会で審査を行う**委員会質問**。
委員会での審査の内容と議案審議の結果をお伝えします。

付託先 議案 第30号（所管部分）・第32号（所管部分）・議案第33号：総務教育常任委員会

議案 第27～29号・第30号（所管部分）・議案第31号・議案第32号（所管部分）議案第34～36号：産業厚生常任委員会



議案	内 容 説 明
②⑦	厚生労働省令の改正に伴い「舟橋村家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例」の一部改正を行いました。
②⑧	国民健康保険法の改正に伴い「舟橋村国民健康保険条例」の一部改正を行いました。
②⑨	令和6年度一般会計補正予算（第2号）…増額補正324万6千円 予防接種法上の定期接種として扱われることとなった新型コロナウイルスワクチン接種に係る事業費について専決処分を承認しました。令和6年度予算総額は20億8,622万7千円となりました。
③⑩	令和6年度一般会計補正予算（第3号）…増額補正4,441万8千円 村道東芦原舟橋駅線道路改良工事に係る費用1,024万6千円、地方創生に関するコンサルティング業務及び次世代プロジェクト創出に向けた住民意識調査業務に係る費用972万6千円、古海老江地区水門改修工事に係る費用382万6千円等の予算が計上されました。 令和6年度予算総額は21億3,064万5千円となりました。
③⑪	令和6年度舟橋村簡易水道事業会計補正予算（第2号） 収益的収入で給水収益970万2千円減額（6月定例会採決の他会計負担金分）、収益的支出で営業費用（浄水費）24万5千円減額、（業務費）20万9千円減額、営業外費用（企業債利息償還金）16万円、資本的支出で（建設改良等企業債償還金）272万円、（有形固定資産購入費）46万3千円減額の予算が計上されました。
③⑫	令和5年度一般会計決算認定の議案です。予算額23億2,612万3千円に対し、歳入決算額は22億7,016万9,207円、歳出決算額は20億5,658万1,122円でした。
③⑬	令和5年度土地取得事業特別会計決算認定の議案です。予算額32万6千円に対し、歳入決算額は32万4,279円、歳出決算額は0円でした。
③⑭	令和5年度国民健康保険事業特別会計決算認定の議案です。予算額1億7,634万6千円に対し、歳入決算額は1億4,822万302円、歳出決算額は1億4,127万6,016円でした。
③⑮	令和5年度簡易水道事業特別会計決算認定の議案です。予算額9,618万4千円に対し、歳入決算額は7,007万7,866円、歳出決算額は6,228万5,614円でした。
③⑯	令和5年度後期高齢者医療事業特別会計決算認定の議案です。予算額7,958万9千円に対し、歳入決算額は7,858万9,667円、歳出決算額は7,759万7,943円でした。
報告 第2号	舟橋村の財政健全化に関し、監査委員から報告がありました。これは令和5年度決算における財政健全化比率及び資金不足比率についての報告です。実質公債費比率は8.8%、将来負担比率は44.6%と報告され、財政は健全であると報告されました。併せて、財政の是正改善を特に指摘する事項は無いとの報告もされました。
議員提 出議案 第2号	地方自治法の改正に伴う標準町村議会委員会条例の改正に伴い、オンラインで委員会等を開催可能とするほか、議会の手続に係る規定等について整備するため「舟橋村議会委員会条例」の一部改正を行いました。
議員提 出議案 第3号	地方自治法の改正に伴う標準町村議会会議規則の改正に伴い、オンラインで委員会等を開催可能とするにあたり、必要な事項を定めるため「舟橋村議会会議規則」の一部改正を行いました。



委員会質問 住みよい舟橋村

総務教育常任委員会

村政の魅力を広くアピールし、企業版ふるさと納税の拡充を目指す

問 企業版ふるさと納税寄附金40万円が補正予算計上された。拡充に向けた方策は。(森)

答 舟橋村においては、令和5年度に地域再生計画が認定されたことで企業版ふるさと納税の制度運用が可能となった。これまで物納による企業版ふるさと納税適用の実績はあったが、現金による寄附申出があったことから補正予算措置した。返礼品が無いのが個人版ふるさと納税と異なる部分であるが、舟橋村が取り組む施策を積極的にアピールすることで、各種企業における村政への理解の浸透に努めたい。

機械設備類の計画的な維持管理に努める

問 役場の非常用発電機修繕費148万5千円が補正予算計上されているが、定期点検が実施されているのであれば、当初予算計上可能な費用であると考えられる。今回補正となった理由は。(小杉、田村)

答 月1回実施している定期点検において、蓄電池残量が基準を下回ったことが判明したため、必要な費用を補正したもの。定期点検結果に従い、機械設備の計画的な維持管理に努め、必要な費用は当初予算において計上するよう今後改めたい。

児童生徒の学習用端末調達に備えた事前調査を実施

問 ネットワークアセスメント事前調査業務委託料が、小学校費、中学校費及び事務局費でそれぞれ計上されているが、どのような基準により調査結果が出されるのか。(前原)

答 各教室設置モバイル回線の容量が2メガバイト以上確保されているかが判断基準となる。令和

7年度に実施予定の児童生徒1人1台の学習用端末調達の財源として公立学校情報機器整備基金を活用するが、その補助要件としてネットワーク整備計画策定が必要であり、ネットワークアセスメントにて得た情報が必要となるため、業務を委託するもの。



中学校家庭科室に電気給湯器を設置

問 中学校家庭科室用電気給湯器設置工事費が補正予算計上された理由は。(小杉)

答 食器等をお湯で洗う際に使用する。中学校家庭科室には給湯器がなく、担当教諭が沸かしのお湯を使用しているのが現状。当初予算措置したのは備品購入費のみであったが、設置には工事が必要となったため必要な費用を補正するもの。

複数職員によるきめ細かな対応で滞納をなくす

問 令和5年度決算において、住民税、固定資産税、軽自動車税それぞれ滞納繰越額が計上されている。滞納者への対応状況は。(田村)

答 こまめに連絡をとるなど個別対応を進めており、滞納繰越となった方でも令和6年度中に完納見込の方や、誓約により分納中の方もいる。生活困窮により支払が難しいと思われる場合もあるが、複数の職員で対応を進めているところであり、新たな滞納者が生じないように留意して進めたい。



村民の幸福度向上を！

産業厚生常任委員会

定期予防接種として位置付けられた新型コロナウイルスワクチン接種事業費を専決

問 新型コロナウイルスワクチン定期接種に係る事業費324万6千円が8月5日付で専決処分された。対象者は何名か。また本件が専決処分となった理由は。(古川)

答 新型コロナウイルスワクチン接種は、令和6年度からインフルエンザ予防接種と同様に定期予防接種として位置付けられた。本年度当初予算要求の段階では、ワクチン単価等の情報が公表されていなかったが、その後詳細事項が公表された。本年10月1日接種開始に向け、8月下旬には医師会との委託契約を締結する必要があったため、専決処分となった。対象者は65歳以上で約600名。

ひまわり種から特産品となる商品化開発を進める

問 ひまわり種搾油業務の委託内容は。また商品化に向けた今後の構想は。(前原)

答 搾油、種の選別、ビン詰めに係る作業費に送料を加えた業務を委託内容とした。種収穫時の施設までの運送費や種の取り出し、乾燥に係る費用、施設借上料について補正予算を計上した。本事業は1年目であるため試験的に実施している部分もあるが、搾油が可能と判断される状況を迎えられれば、製菓会社とのクリーム開発や、村内飲食店とのドレッシング試作にも着手したい。



工事区間の用水路維持のため工事費増額が必要

問 道路改良工事費1,000万円増額の内容は。また24万6千円の移転補償が必要となる物件とは。(古川、前原)

答 9月に再開した村道東芦原舟橋駅線道路改良工事において、工事区間の用水路を迂回させ水の供給を維持するための水替工と、地元住民の要望による付帯工事が追加となり必要な予算を計上した。補償対象となる物件は、電柱移設による光ケーブル類の移転が必要である旨が明らかになったもの。

白岩川河川敷の橋は測量等の詳細調査を経て今後の方向性を検討

問 白岩川河川敷に所在する橋の維持管理と今後の方向性について改めて確認する。(竹島)

答 約60年前に農道橋として建設されたものだが、所有者が明確になっていない。県との協議を継続しているが、橋を改修して維持する場合も撤去する場合も、まずは所有者を明確にする必要があるが、河川占用許可を得たうえで舟橋村が所有者となるべきと指導されている。占用許可申請をする際にも、先立って現状の橋の測量等の詳細調査が必要。

農園利用者と学童保育施設利用者との繋がり場の創出したい

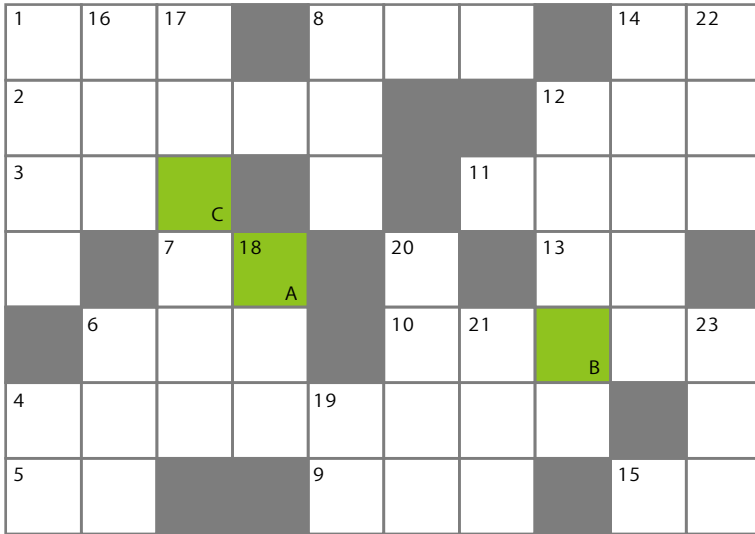
問 ふなはし特産倶楽部の活動の場となっている駅南駐車場横貸農園の活用を推進するため、手洗い場や休憩所の整備を検討すべき。(加藤)

答 貸農園近くには学童保育施設forkがあり、施設運営代表者の意向から、施設利用児童と農園利用者との交流が進められている。農園利用時の休憩所としてforkを活用いただくことで、高齢者と子ども達との関わりが深まることも期待され、forkを活用した地域住民交流の場の創出について検討を進めたい。

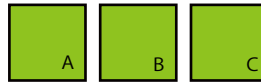
Bridging Crossword



ふなはし 議会だより
Funahashi Bridging Voices
ふなはし ぶりっじんぐ うおいしーず



舟橋村の花といえば



○ヨコのカギ

- 1：建物などを取り壊したあとの土地の事
- 2：議会だより作りで大切にしている言葉（ヒント：本号特集）
- 3：細い棒で回しながら整形した愛媛名物の練りもの
- 4：運転免許を返納するともらえるチケット
- 5：先月 27 日に行われた選挙、富山県〇〇選挙
- 6：生駒山がある奈良県の都市、〇〇市
- 7：「長」の表外訓読み
- 8：村にはドラマ「恋仲」の〇〇〇になった橋があるそうです
- 9：「馬」のつく体操の種目で男子のみの種目
- 10：物を触った時に生じる感覚
- 11：前原議長の下の名前
- 12：実行の日時を伸ばす事
- 13：英語で「Year」
- 14：銀河系だけでも 1000 兆個あると言われている物
- 15：「栗」と書く秋に美味しい食べ物

○タテのカギ

- 1：クルマの安全装備の一つ「ブレーキ〇〇〇〇」
- 4：「質」の表外訓読み
- 6：日本初の旋回式回転橋が架けられた黒部の町
- 8：どの道を通ってもここにたどり着くらしい
- 12：今年から運用が始まっている電子回覧板アプリ
- 14：沖縄で「ていんさぐ」と呼ばれる花
- 16：寿司といえば
- 17：本村でも今年 7 月 1 日より始まった〇〇〇〇〇協力隊
- 18：夏を英語で
- 19：英語で応援や激励を意味する言葉
- 20：タテ 17 の隊員として本村に着任した人の愛称
- 21：幸運をもたらすと言われている〇〇〇〇のクローバー
- 22：記録などを残すために文字を書き記すこと
- 23：紀元前 4000 年頃からあったと言われる、病気や怪我の治療に役立つものといえ

議会広報特別委員会

委員長：古川 元規
副委員長：前原 英石
委員：田村 馨
委員：小杉 知弘

あとがき

先月行われた衆議院議員選挙と富山県知事選挙の投票は行かれましたでしょうか？投票する事は政治参加への第一歩などと言ったりしますが、舟橋村にはもっと気軽に政治参加できる、この議会だよりがあります。3 か月に 1 回、わずか年 4 回の発行です。リビングテーブルの上などに置いて、お時間のある時に読んでいただけますと村政の一部が見えてくると思います。村民と議会を繋ぐFunahashi Bridging Voices（議会だより）をこれからもよろしくお願いいたします。（小杉 記）

議会・議会だよりについて、
皆さまのご意見・ご感想を
お寄せください。



読者アンケートフォーム

舟橋村議会事務局

〒930-0295 富山県中新川郡舟橋村仏生寺 55
TEL: 464-1121 (代) FAX: 464-1066 Mail: info@vil.funahashi.iyomajp